

名古屋大学大学院生命農学研究科
附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド(附属農場)
「農場講演会(オンライン開催)」のお知らせ

名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド(附属農場)では、地域貢献事業の一環として、以下のオンライン講演会を開催します。

第2回農場講演会 10月30日(土) 午後2時00分～3時30分

「日本の農業を世界の中で考える -日本の食料、世界の農業-

**講師 山内 章 先生 (名古屋大学大学院生命農学研究科・教授/名古屋大学
アジアサテライトキャンパス学院・学院長)**

私たちが毎日食べている食料のうち6割以上が、海外の農地で、そこの人々によって作られ、海を渡って運ばれてきて、私たちの食卓に登ります。したがって、私たちの食料は、世界の農業の中に位置づけて考えることが大切です。

去る9月23日に国連主催によって、日本を含む世界の首脳が参加して、「国連食料システムサミット」が開かれ、世界が「食料」の問題に熱い視線を注いでいます。ここには、日本を含む世界各国から、高校生を含む若者、企業、農業者、大学、政府の関係機関などが多く関わってきました。

https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokusei/kanren_sesaku/FA0/fss.html

世界で行われている農業について見ると、水が足りない、逆に多すぎる、土地が痩せている、土に植物の生長に悪い物質を含んでいるなど、さまざまな原因(これを環境ストレスと言います)で、思うように農作物が育たない場所が世界には非常に多いです。しかも最近では、地球全体の気候が変わってきて、ますます農作物が作りにくくなってきています。それに対し、私たちは、その様な条件でもよく育つ農作物を作り出す研究を進めてきて、とりわけ根の働きがとても重要であることが最近の研究で次々にわかって来ました。

そこで、根はどのような仕組みで環境ストレスがある条件のもとでも農作物の生長を支えることができるのか、それにはどのような遺伝子が働いているのか、について、農学部の実験室、この東郷フィールド農場や、アジアやアフリカの各地で研究を進めてきたので、これまでの成果を紹介します。

これらをもとに、今後の日本の食料や世界の農業に対して、私たちに何ができるか、をみなさんと一緒に考えたいと思います。

場 所 : Zoomによるオンライン配信

定 員 : 100名

参加費 : 無 料

申込み方法 : 参加をご希望の方は、①氏名(ふりがな)②職業③連絡先(住所、電話番号、電子メールアドレス)を明記の上、下記申込先まで電子メールによりお申し込みください。オンライン参加の方法は折り返しお知らせいたします。

申込み締切 : 令和3年10月26日(火)

主 催 : 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学大学院生命農学研究科

申込みおよび問い合わせ先 :

名古屋大学大学院生命農学研究科

附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールド 事務室

電話 : 0561-37-0200 FAX : 0561-38-4473

メール : takatsuka.toshio@(@の後に adm.nagoya-u.ac.jp)